節目を祝って乾杯する出席者

産群」の構成資産の一つ、荒船風穴（下
祝賀会が22日、同町文化ホールで開か
団体「荒船風穴友の会」（堀越教之会
存活用事業の発展を誓った。

見の設計図 解説

遺産
録10年

表し、原町長
生状況を体感
よう毎年整備
、今後の保存
を切に願いた
っ。来賓の山

本一太知事は「関係4市町と連携しながら、『富岡製糸場と絹産業遺産群』の価値を広く発信したい」と述べた。

風穴の研究に取り組んできた町歴史館の秋池武館長が「冷風に乗せた熱い想い」と題して記念講演した。新たに見つかった「1号風穴」の設計図について、冷気を取り入れやすくするための工夫が随所に見られるなど最先端の技術が導入されていたことを紹介。約5千年前の縄文時代の土器が発見されたことにも言及し、「縄文時代の人が貯蔵庫として使った場所が蚕種貯蔵に活用された。これから5千年先の人にも施設の価値が伝わるよう保存していきたい」と強調した。

祝賀会では堀越会長の音頭で乾杯。町学校給食センターが、蚕の成長や五穀豊穣を願った郷土料理「まゆ玉汁」を出席者に振る舞った。世界遺産登録から10年間の整備記録や風穴の楽しみ方をまとめた記念冊子も配布した。

荒船風穴は山を流れる強力な冷風を利用した蚕種貯蔵庫で1905年に創業。国内最大級の蚕種貯蔵能力を誇り、年に複数回の養蚕を可能にして、繭の大量生産に貢献した。（神辺尚美）

県庁に開設されたアクセンチュアのオフィスを紹介する田中センター長。社員の考えなどを共有するスペースがある

入れ環境も決め手になったという。前橋のセンター長を務める田中慎二執行役員（52）は「IT産業を通して県民の若年人口を増やし、地方のモデルケースとして可能性を見いだしたい」と力を込める。

企業が首都圏から拠点を移す動きについて、群馬経済研究所の伊勢和広研究部副部長（57）は「進出企業の優秀な人材が集まり、経済的に間違いなくプラスとなる」とみる。

さらなる企業誘致に向け、県は専門チームを組織くかは流動的だ。コロナの5類移行で経済活動が本格する。

記者の視点

「群馬だから」を強みに

政府は今月、地方創生の10年間の取り組みをまとめた報告書を発表した。結論から言えば、東京圏への一極集中の大きな流れを変えるには至っていないとの総括だ。コロナ禍を契機に地方への転入企業は増えたが、一時的なブームなのか。

本県に本社を移転したり拠点を設けたりした企業は、事業継続の枠を超えた可能性を感じている。こうした動きを広げるには、転入後も事業が持続できると認識してもらうことが必要だ。官民一体の地力を生かし、新たな施策や取り組みで呼び込んでほしい。「群馬だからできる」を増やすことが何よりも強みとなる。（林哲也）

源頼信の時代の上野国をテーマに議論した群馬学連続シンポジウム

西暦1000年頃の上野国は？

県立女子大 専門家5人がシンポ

本県の歴史や文化をテーマにした県立女子大の第45回群馬学連続シンポジウムが22日、玉村町の同大講堂で開かれた。「上野介源頼信とその時代」と題し、5人の専門家が西暦千年前後の上野国について考察。約260人が来場し、疲弊して統治が困難な国「亡弊国」とされた当時の上野国の実態を探った。

源頼信は著名な上野介の一人。藤原道長らが活躍した摂関政治の全盛期に国司である上野介を務めた。上野国を含む当時の関東一円は亡弊国だったと文献に残るが、1部では上武大の中村光一教授ら4人の専門家が講演し、当時の上野国についてそれぞれ意見を述べた。

2部は県立女子大の簗瀬大輔教授がコーディネーターとなり、4人の専門家とパネルディスカッションした。手掛かりとなる文献が限られる中、簗瀬教授は上野国一帯に関する地域史の目線で、この時代について考察していくことの重要性を指摘。「今までの国家体制からの見方とは違う見方で、地域の歴史や時代区分を考えてもいいのではないか」と述べた。（関口健太郎）

安中市と同志社の連携で講演会

新島の学校設立 向けた思い紹介

安中市と学校法人同志社（京都市）の包括連携協定事業「安中・同志社新島講演会」が22日、安中市の新島学園中高の礼拝堂で開かれた。同志社大の百合野正博元神学部教授と本井康博元神学部教授がそれぞれ講演し、約200人が耳を傾けた。

百合野名誉教授は「新島襄が私学同志社を設立した重要な意味―グレイス教会中高の聖歌隊によるミニコンサートが行われた。（多田素生）

講演する百合野名誉教授

2人

公益社団法人「被害者支援センターすてっぷぐんま」（小磯正康理事長）は22日、前橋市東公民館で通常総会を開き、功労者らを表彰した。

8年以上勤めている相談員2人には、重永達矢県警本部長と小磯理事長連名の表彰状を渡した。多額を寄付したアイ・ビー・エス・アウトソーシング（太田市西本町、新井田浩之社長）、リコージャパン（東京都港区、笠井徹社長）、旅がらす本舗清月堂（前橋市新堀町、糸井義一社長）の3社には、感謝状を贈った。

総会では、昨年度の事業報告や本年度の収支予算などを確認した。（金子雄飛）

小磯理

無免許運転と犯人隠避疑い

桐生署が男2人逮捕

桐生署は22日までに、自動車運転処罰法違反（無免許過失傷害）と犯人隠避教唆の疑いで、伊勢崎市曲沢町、無職、森山竜容疑者（24）を、犯人隠避の疑いで、森山容疑者と同居する無職、岡本祐亮容疑者（21）を逮捕した。

森山容疑者の逮捕容疑は4月18日午後9時50分ごろ、みどり市笠懸町阿左美の国道50号で無免許で軽トラックを運転。交差点を右折する際、対向してきた同市の30代の男性会社員の乗用車に衝突し、左膝に軽傷を負わせた上、岡本容疑者に自身が運転していたとうその申告をさせた疑い。岡本容疑者の逮捕容疑は同日午後10時10分ごろ、同所の事故現場で、署員に「自分が運転していた」とうその申告をして犯人を隠避した疑い。

同署によると、森山容疑者は「運転が好きで運転した。無免許がばれないよう身代わりを依頼した」と、岡本容疑者は「頼まれて身代わりになった」とそれぞれ容疑を認めている。森山容疑者に運転免許の取得歴はなかった。

山人音楽祭2024
9.21[土]出演アーティスト
9.22[日